

Q. 岡山自動車道の改良で発生する残土を活用すべきではないか

A. 法令手続きが短期間で盛土の後の活用が見込める所を優先する



ここを聞きました

- 岡山自動車道について
- 通学路の安全対策について
- 公共交通について

岡山自動車道について

三村 賀陽ICから北房JCTまで一部車線増が決まり、工事により大量の残土が発生する。処分場の確保や埋立後の活用はどうなっているのか。

市長 処分場は市内8カ所を予定しており、活用が見込める箇所から優先したい。

三村 処分場への道路は、市内業者が受注出来るようにすべきでは。

市長 市内業者が入れるようネクスコ西日本と協議を進めている。

三村 高梁サービシエリアに行く場合、巨瀬からの道路は狭くて対向出来ない。改良が必要では。

市長 改良は難しいが待機所は検討する。他の路線も利用してほしい。

通学路の安全対策について

三村 津川町八川地区の国道313号は、歩道整備が中断して15年になる。平成26年12月議会で暫定処置を含めて整備を提起したが、なぜ進まないのか。

産業経済部長 この箇所は重要路線として県要望したが、用地交渉が難航し一旦中止した。橋梁の新設も必要であり工事再開のめどもたっていないが、県に事業再開と、現状であっても安全に通学できるような改良なども要望していく。

公共交通について

三村 去年の6月議会で運行時間を変更すべきと提起したが、その後どのように検討したのか。

市民生活部長 運業者との協議を行っている。

Q. 備中松山城への入城者10万人を突破した。新たな観光戦略はどのようなものか

A. 観光客を立ち寄り型から滞在型へ、見る観光から体験する観光へ導きたい



ここを聞きました

- 観光行政について
- 産学官連携関連事業について
- 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について

観光行政について

小林 これからの観光について城南高校、商工会議所がアンケート調査を行ったが、次のステップとなる観光戦略はどう考えるのか。

市長 観光を「点から線に、線から面に」「立ち寄り型から、滞在型に」「見る観光から、体験する観光へ」と導きたい。

アンケートでは、城南高校から「観光客の利便性向上と経済の活性化、観光に関心ある学生の活用」という視点で「路線バスの整備、道の駅の新設、学生ボランティアチームの結成」等6つの提言をいただいた。

商工会議所からは「ハード整備、ソフト事業、商品開発事業」の3つの視点で合計13の提案をいただいた。

新たな観光PRの展開を目的として、昨年、法人会が市に寄付をしているが、どう活用するのか。

市長 新たな観光PR策として大手門復元のVRや、ドローンで空撮した映像を活用して、時期や場所を選ばず雲海に浮かぶ備中松山城を楽しむ事が出来るVRなどの先進的なコンテンツ技術の活用を検討している。

旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について

小林 旧「ゆ・ら・ら」施設の活用はどう考えているのか。

市長 活用に向け募集要項の策定、選考委員会の人選等の準備を行っている。過去の経緯、経過も踏まえつつ慎重に進めていきたい。

Q. 成羽病院について、医療型療養病床42床の転換をどのようにしていくのか

A. 療養病床は、今年5月に廃止となり、その受皿として、国の方針である介護医療院の創設を検討している



ここを聞きました

- 医療計画について
- 成羽病院について
- 高梁市住宅リフォーム事業費補助金について
- 観光振興について

成羽病院について

黒川 4階の医療型療養病床42床の稼働率が悪いのではないかと。

病院事務長 この5月の療養病床の利用率は44%と低い状況である。理由として市内や成羽病院医療圏に入所施設が増えたことや国の終末期医療の考え方等を踏まえた医療行為などが減少したと考える。

黒川 利用率が減少すると病院経営にも支障をきたすのではないかと。今後、国の方針も踏まえてどのように転換していくのか。

病院事務長 成羽病院内にある療養病床については、平成29年度末に法的に廃止となる。転換先として、5月に介護保険法の改正により、廃止となる療養病床の受皿となる介護医療院の創設が示されたので検討している。

黒川 利用率が減少すると病院経営にも支障をきたすのではないかと。今後、国の方針も踏まえてどのように転換していくのか。

黒川 医師の確保について、現在、成羽病院の眼科は週2日から週1日に、整形外科は、1名の医師が退職されているが、今後どのように医師の確保をしていくのか。

病院事務長 眼科については、近隣の公立病院より応援を受けているが、医師の確保は地域医療、病院経営にとって非常に重要と考える。

医師官舎の整備や、若い医師の研修受け入れもしている中、県の自治医大医師の派遣や大病院の地域枠からの医師派遣を要請したい。基本的には、岡大病院医局への要請を考えている。

黒川 成羽病院は、以前より岡大病院の関連病院として位置付けられており、医局への協議もお願いする。

Q. 有漢工業団地の進捗の状況と考え方はどうか

A. 3社から話を聞いているが、具体的な話はできていない



ここを聞きました

- 地方創生事業について
- 地域要望と買い物難民について
- 岡山自動車道4車線化について
- 有漢工業団地用地について

地方創生事業について

倉野 葉草（ウラルカンゾウ）栽培での地方創生に取り組んでいるが、成果と今後の計画はどうか。

産業経済部長 農福連携で平成27年7月に4者で連携協定を結んだ。有漢町での実証実験を終え、総合戦略の計画目標9・12ヘクタールへ向けて市内農業者に周知を行っていく。県、他の自治体に協力を求めつつ結果を出していきたい。

地域要望と買い物難民について

倉野 高齢化が進んでいる本市において、今後も買い物に困る人が増えていく。高齢化率が県下でも高い本市での対策はどうか。

市長 今後ともそれぞれの人々に合った支援を行ってきたい。

有漢工業団地について

倉野 有漢では地域や企業からコンビニの誘致要望があるが、市の支援制度も活用できるので運営者を探してほしい。

倉野 工事の進捗状況と企業誘致はどうなっているのか。

市長 工事は平成29年度末で完了予定である。現在3社から話があるが、まだ具体的な話までは行っていない。

雇用の創出になるので、企業誘致のための優遇処置についても見直しを行ってきたい。

※1. VR…バーチャルリアリティ（仮想現実）
 ※2. 4者…NPO法人ワークネットおかやま、三菱樹脂株式会社、株式会社グリーンイノベーション、高梁市